## 介護保険負担限度額認定申請書

年 月 日

上三川町長 様

次のとおり関係書類を添えて、食費・居住費(滞在費)に係る負担限度額認定を申請します。

																								$\overline{}$
フリガナ											被	保険者	香香号	<u>1.</u> 7										
被保険者氏名											個人	.番号												
生年月日								2	年	月	-	3												
住 所			Ŧ	連絡先																				
入所(院)した 介護保険施設の 所在地及び名称 (※)			₹										連	絡	先									
入所(院)年月日 (※)					年	Ē.	月		目		介護保 を利用									及で	ブシ:	<b>=</b> —	トス	
配偶者の有無				有	•		無			記にお ては、				合は	、以	下の	) [₫	配偶:	者に	_関	する!	事項」	に	.つ
配偶	フリ	ガナ																						
	氏	名																						
	生 年	月日				年	J	1	日		個 人	番号												
配偶者に関す	住	所	〒 連 絡 先										·	·										
する事項		1月1日	₹																					
項	(現付	の住所 E所と る場合)																						
課税状況 市町村民税 課税・非課税																								
				①生活保	護受給者	/②市町	「村民移	2世帯	非課税	である	老齢福	晶祉年	金受	給者										
収入等に 関する申告				③市町村民税世帯非課税者であって、 課税年金収入額と【遺族年金※・障害年金】の収入額、その他の合計所得金額の合計額が年額80万9,000円以下です。 (受給している年金に〇してください。以下同じ。) ※寡婦年金、かん夫年金、母子年金、遺児年金を含みます。以下同じ。																				
				④市町村民税世帯非課税者であって、 □ 課税年金収入額と【遺族年金※・障害年金】の収入額、その他の合計所得金額の合計額が年額80万9,000円を 超え、120万円以下です。																				
				⑤市町村民税世帯非課税者であって、 □ 課税年金収入額と【遺族年金※・障害年金】の収入額、その他の合計所得金額の合計額が年額120万円を超えます。																				
預貯金等に 関する申告				預貯金・有 <sup>2</sup> 方は550万円 <b>※</b> 第2号初	月(同1550	万円)、(	5の方	は5007 以下)。	万円(  の場合	司1500	万円)以	人下で	す。									<b>万円)</b>		
			7	頁貯金額			円 (言	有価 評価概		頁)			円	(玛		の負債		b 含む)	(				)	<b>※</b> 円
							•											※内	容を	と記	入し	てく	ださ	えりノ

申請者が被保険者本人の場合には、下記について記載は不要です。

	中間日本版外的一个大少物目(c/s、 ) 品(c ) ( c ) 就以下发 ( )。
申請者氏名	連絡先(自宅・勤務先)
申請者住所	本人との関係

## 注意事項

- (1)この申請書における「配偶者」については、世帯分離をしている配偶者又は内縁関係の者を含みます。
- (2)預貯金等については、同じ種類の預貯金等を複数保有している場合は、そのすべてを記入し、通帳等の写しを添付してください。
- (3) 書き切れない場合は、余白に記入するか又は別紙に記入の上添付してください。
- (4)虚偽の申告により不正に特定入所者介護サービス費等の支給を受けた場合には、介護保険法第22条第1項の規定に基づき、支給された額及び最大2倍の加算金を返還していただくことがあります。

## 同 意 書

上三川町長 様

介護保険負担限度額認定のために必要があるときは、官公署、年金保険者又は銀行、信託会社 その他の関係機関(以下「銀行等」という。)に私及び私の配偶者(内縁関係の者を含む。以下同 じ。)の課税状況及び保有する預貯金並びに有価証券等の残高について、報告を求めることに同 意します。

また、貴町長の報告要求に対し、銀行等が報告することについて、私及び私の配偶者が同意している旨を銀行等に伝えて構いません。

年 月 日

〈本人〉

住所

氏名

〈配偶者〉

住所

氏名